

目 次

プログラム概要	ii
セッション概要	iv
個別発表一覧	v

< 要 旨 >

全体セッションⅠ「有機菜園の社会的意義と可能性～持続可能な社会への転換に向けた『菜園を基軸とした学び』(Garden-based Learning)の潜在力を考察する～」	1
全体セッションⅡ「天敵利用を考える」	11
地域セッション「ガンバってる佐渡の有機・環境保全型稲作～この10年でできたこと・できなかったことを踏まえて今後を展望する～」	20
個別発表	
社会人文学系 A 会場	25
社会人文学系 B 会場	41
自然科学系 A 会場	52
自然科学系 B 会場	67

プログラム概要

【1 日目：12 月 10 日（土）】

13:00 開会（12:50 開場）

13:00～13:30 開会セレモニー

13:30～15:30 全体セッションⅠ「有機菜園の社会的意義と可能性～持続可能な社会への転換に向けた『菜園を基軸とした学び』（Garden-based Learning）の潜在力を考察する～」

座 長： 山本奈美（京都大学大学院）

話題提供： 澤登早苗（恵泉女学園大学）

堀口博子（一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン）

金子信博（福島大学食農学類）・根本敬（あだたら食農 school farm）・渡邊芳倫（福島大学食農学類）

総合討論

15:00～15:30 休憩

15:30～17:30 全体セッションⅡ「天敵利用を考える」

座 長： 星野 滋（広島県立総合技術研究所農業技術センター）

話題提供： 日鷹 一雅（愛媛大学大学院農学研究科）

永井 一哉（元岡山県農林水産総合センター）

井上 栄明（元鹿児島県農業開発総合センター）

星野 滋（広島総研農業技術センター）

総合討論

18:00～19:00 オンライン懇親会

【2 日目：12 月 11 日（日）】

9:00～11:00 地域セッション「ガンバってる佐渡の有機・環境保全型稲作～この10年でできたこと・できなかったことを踏まえて今後を展望する～」

座 長： 豊田 光世・伊藤 亮司（新潟大学）

話題提供： 渡辺 竜五（佐渡市長）

斎藤 真一郎（農業者）

本間 航介（新潟大学）

山田 晃太郎（やまだ農園）

質疑・議論

11:00～12:30 個別発表 I（10:50 開場）

12:30～13:30 昼食休憩

13:30～15:00 個別発表 II

15:00～16:00 総会

16:00 閉会挨拶

セッション概要

全体セッションⅠ「有機菜園の社会的意義と可能性～持続可能な社会への転換に向けた『菜園を基軸とした学び』(Garden-based Learning)の潜在力を考察する～」

- 座 長： 山本 奈美（京都大学大学院） 1
- 話題提供：
- 「有機菜園の社会的意義と可能性—日本版“The Growing Classroom”，恵泉生活園芸“Life Gardening”の経験から—」
- 澤登 早苗（恵泉女学園大学） 3
- 「子どもたちの未来をつくる教室：エディブル・スクールヤードから見える持続可能な生き方と発展的食育の成果」
- 堀口 博子（一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン） ... 4
- 「有機、不耕起の参加型実証農園での学び～あだたら食農 school farm の経験から」
- 金子信博（福島大学食農学類）・根本敬（あだたら食農 school farm）・渡邊芳倫（福島大学食農学類） 8

全体セッションⅡ「天敵利用を考える」

- 座 長： 星野 滋（広島県立総合技術研究所農業技術センター） 11
- 話題提供：
- 「有機農業におけるアグロエコロジカルな土着循環型天敵活用のストラテジについて：水田の浮塵子糸片虫と天敵群アソシエイトを事例に」
- 日鷹 一雅（愛媛大学大学院農学研究科） 12
- 「野菜害虫防除のための土着天敵の利用と周辺植生の影響」
- 永井 一哉（元岡山県農林水産総合センター） 16
- 「有機農業農家での天敵利用」
- 井上 栄明（元鹿児島県農業開発総合センター） 17
- 「導入天敵の利用法と問題点（オンシツツヤコバチを例に）」
- 星野 滋（広島総研農業技術センター） 18

地域セッション「ガンバってる佐渡の有機・環境保全型稲作—この 10 年でできたこと・できなかったことを踏まえて今後を展望する—」

- 座 長： 豊田 光世・伊藤 亮司（新潟大学） 20
- 話題提供：
- 「環境の島：佐渡市における 20 年の取り組みを振り返って：有機・環境保全型農業の展望」
- 渡辺 竜五（佐渡市長）
- 「佐渡における自然栽培・有機農業の農法論的発展と地域への普及・担い」
- 斎藤 真一郎（農業者）
- 「生態学・生き物側からみた佐渡農業の課題」
- 本間 航介（新潟大学）

個別発表一覧

社会科学系 A 会場 12 月 11 日 11:30—12:30, 13:30—15:00

時間	座 長	発表者	所 属	タイトル	番号
11:30 — 11:50	相川 陽一 (長野大学)	中里 和浩 ¹⁾ 尾形 友聡 ¹⁾ 本城 昇 ¹⁾	¹⁾ 埼玉大学	無意識・意識の世界と有機農業	社 A-1
11:50 — 12:10		中里 和浩 ¹⁾ 尾形 友聡 ¹⁾ 小林亜依奈 ¹⁾ 関口 珠末 ¹⁾ 本城 昇 ¹⁾	¹⁾ 埼玉大学	民謡・祭りと地域の文化の自給	社 A-2
12:10 — 12:30		飯塚里恵子 ¹⁾	¹⁾ 千葉農村地域文化研究所	現代農村の「つながり」考 山田農園「筑波山麓 KAYABUKI ライフ～懐かしい未来～」を素材として	社 A-3
13:30 — 13:50	末永千絵 (秋田県立大学)	根本志保子 ¹⁾	¹⁾ 日本大学	有機農産物の消費者団体における消費者の社会的選好と組織運営 日本とオランダの 4 団体のインタビューデータ分析	社 A-4
13:50 — 14:10		中塚 華奈 ¹⁾	¹⁾ 摂南大学農学部	グリーン購入法改正によるオーガニック需要拡大に関する研究	社 A-5

社会科学系 B 会場 12 月 11 日 11:30—12:30, 13:30—15:00

時間	座 長	発表者	所 属	タイトル	番号
11:30 — 11:50	谷川彩月 (人間環境大学)	中川 祥治 ¹⁾ 菅原 啓順 ¹⁾	¹⁾ 農業・環境・健康研究所 名寄研究農場	家族参加型有機菜園プログラムにおける参加者からのフィードバック～親のスピーチの計量テキスト分析～	社 B-1
11:50 — 12:10		森田亜貴 ^{1,2)} 坂本 直樹 ¹⁾ 荒川 裕紀 ¹⁾ 萩原 航 ¹⁾ 西辻一真 ^{1,3)}	¹⁾ サステイナブル・マイファーム ²⁾ マイファーム ³⁾ マイファーム・札幌静修学園	環境保全型農業を担う人材育成のための基礎教育カリキュラム策定事例 —札幌静修高等学校通信制課程 アグリコースの計画事例—	社 B-2

13:30 — 13:50	浅岡みどり (立教大学 大学院)	川副 優花 ¹⁾ 中西 隆允 ¹⁾ 草 処 基 ²⁾ 田中 治夫 ²⁾	¹⁾ AGBIOTECH(株) ²⁾ 東京農工大学院	島内有機農家実態調査から明らかにされた淡路島における有機農業の特色と課題	社 B-3
13:50 — 14:10		小林 舞 ¹⁾ レカ・チェトリ ²⁾	¹⁾ 京都大学大学院 ²⁾ College of Natural Resources, Royal University of Bhutan	ブータンの有機農業 100%への道のり	社 B-4
14:10 — 14:30		松平 尚也 ¹⁾	¹⁾ 京都大学農学研究科博士後期課程, 耕し歌ふあーむ	米国でのアグロエコロジー普及の展開過程 カリフォルニア大学アグロエコロジーセンターの実践を中心として	社 B-5

自然科学系 A 会場 12 月 11 日 11:30—12:30, 13:30—15:00

時間	座 長	発表者	所 属	タイトル	番号
11:30 — 11:50	嶺田 拓也 (農研機構 農村工学研 究部門)	甲斐 貴光 ¹⁾	¹⁾ 明治大学黒川農場	有機栽培と慣行栽培によるリンゴ園の土壌環境評価	自 A-1
11:50 — 12:10		原田 晃伸 ¹⁾ 徐 啓聡 ¹⁾ 三木 孝昭 ¹⁾	¹⁾ 自然農法国際研究開発センター	カロテン含量豊富なトマト新品種「カロフル」の育成とその特性 緑肥を活用したリビングマルチ栽培による品種育成	自 A-2
12:10 — 12:30		王 嘉憶 ¹⁾ 佐藤里桜 ²⁾ 斎藤涼夏 ²⁾ 中島雅己 ²⁾ 岡山 毅 ²⁾ 村田義宏 ²⁾ 小松崎将一 ²⁾	¹⁾ 茨城大学大学院農学研究科 ²⁾ 茨城大学農学部	大粒系ブドウ品種の有機栽培に関する研究	自 A-3
13:30 — 13:50	甲斐 貴光 (明治大学)	大里 登 ¹⁾	¹⁾ 元 JICA 専門家	防除法分類	自 A-4
13:50 — 14:10		岡島 護 ¹⁾ 根本 大輔 ¹⁾ 中島 雅己 ²⁾ 小松崎将一 ²⁾	元茨城大学農学研究科学生	踏込温床の有用性と廃床利用	自 A-5

14:10 — 14:30		岩瀬 結子 ¹⁾ 稲垣 栄洋 ¹⁾	¹⁾ 静岡大学	有機茶園における除草方法の違い が雑草植生に及ぼす影響	自 A-6
14:30 — 14:50	坂上 伸生 (茨城大学)	稲垣 栄洋 ¹⁾ 金田 直之 ¹⁾ 豊田 雄大 ¹⁾ 岩瀬 結子 ¹⁾ 西川 浩二 ¹⁾	¹⁾ 静岡大学	茶園跡地の土壌改良処理が有機栽 培圃場の雑草発生に及ぼす影響	自 A-7

自然科学系 B 会場 12 月 11 日 11:30—12:30, 13:30—15:00

時間	座 長	発表者	所 属	タイトル	番号
11:30 — 11:50	小松崎 将一 (茨城大学)	石黒 宗秀 ¹⁾ 周 之舵 ¹⁾ 朱 顔 ¹⁾ 柏木 淳一 ¹⁾ 荒木 肇 ²⁾	¹⁾ 北海道大 ²⁾ 新潟食料農業大 学	多数回中耕除草が無肥料無農薬水 田の稲生育と養分動態に及ぼす影 響 転換後 5 年間の経過	自 B-1
11:50 — 12:10		高嶋 尚哉 ¹⁾ 武藤 光輝 ¹⁾ 加来 嵩時 ¹⁾ 菅井 純 ¹⁾ 深澤 茉奈 ²⁾ 浅海 拓真 ²⁾ 岡山 毅 ¹⁾ 浅木 直美 ¹⁾ 小松崎 将一 ¹⁾	¹⁾ 茨城大学大学院 農学研究科 ²⁾ 茨城大学農学部	カバークロップと有機液肥葉面散 布による有機水稻の生育改善につ いて	自 B-2
13:30 — 13:50	加藤 孝太 (農業・環 境・健康研 究所)	渡邊 芳倫 ¹⁾	福島大学 ¹⁾	不耕起栽培畑における土壌物理性 の変異評価	自 B-3
13:50 — 14:10		新井 実紀 ¹⁾ 田中 治夫 ¹⁾ 杉原 創 ¹⁾	¹⁾ 東京農工大学大 学院	土壌型と管理履歴が異なる自然栽 培土壌の理化学性及び生物性	自 B-4
14:10 — 14:30		小松崎 将一 ¹⁾	¹⁾ 茨城大学農学部 附属 国際フィー ルド農学センタ ー	不耕起とカバークロップ利用によ る土壌炭素隔離のコスト分析	自 B-5